

Renovation そろりと | 世界にひとつだけのお気に入りを作ろう



手作り雑貨が好きな皆さまに、とても素敵なお店ができました。お店の名前は「そろりと」。手作りワークショップと雑貨、カフェが一体になったお店です。セトケンにて、リノベーションのお手伝いをさせて頂きました。

可愛いお店の入り口と、店内には手作りの素敵な作品が飾られています。可愛い染付け豆皿もワークショップで作ることが出来ます。人気の香り袋は、6種類の天然香料を自由にブレンドし、乳鉢で香料をすり潰します。可愛い袋を選んで詰めたら、世界でひとつだけの香り袋が出来上がりです！

小田原城と海にも近く、小田原観光の間に30分ほどで、手作りの世界で一つだけのお土産も作ることが出来ます。大切な旅のお土産に是非立ち寄りください。

そろりと

〒250-0011 神奈川県小田原市本町4-1-21 本町ビル1A

TEL : 09040551543

WEB : <https://sororito.jimdo.com/>

Information 【現場クリーンデー】始めました！

瀬戸建設では、月に2回クリーンデーを実施。朝7時30分より、会社の周辺を一斉掃除しています。

今年からは「現場クリーンデー」もスタートさせ、現場の担当者だけでなく、営業や総務なども参加し現場の近隣を掃除しています。

現場周辺を掃除することで、地域に貢献すると共に、新たな発見や学びがあります。



Information 弊社代表が、建設専門紙「建通新聞」にて取材されました。

建設現場で働く人達の安全や環境改善の取り組みや意識向上を改めて学び、1年の安全を誓う安全大会人達を毎年開催しています。今年の総会では、協力業者180人が出席し、その様子を業界紙の建通新聞

にて取材頂きました。

また、弊社で取り組んでいる福祉事業、空き家対策、遊休不動産についても掲載頂きました。



創業明治40年、続けてきました人に優しい家づくり



〔本社〕神奈川県小田原市久野 2267

☎ 0465-34-7711

〔東京支店〕東京都南台町 15-11-6F

☎ 03-6277-5548

〔横浜支店〕横浜西区高島 2-11-2-322

☎ 045-620-7108

お気軽にご連絡ください。



Setoken News

セトケン
ニュース

2018 vol.117

published by
瀬戸建設



Information N 邸が、TV「渡辺篤史の建もの探訪」で放映されました。



シェアする 豊かな暮らし

ご兄弟それぞれの住まいを同時に計画し、お互いに快適な暮らしが出来るように2棟をすらして建築しています。限られた敷地やご予算を有効に使うため、駐車場やアプローチ、バルコニーなどシェア出来る部分はシェアし、それぞれの空間が充実するよう配慮されています。

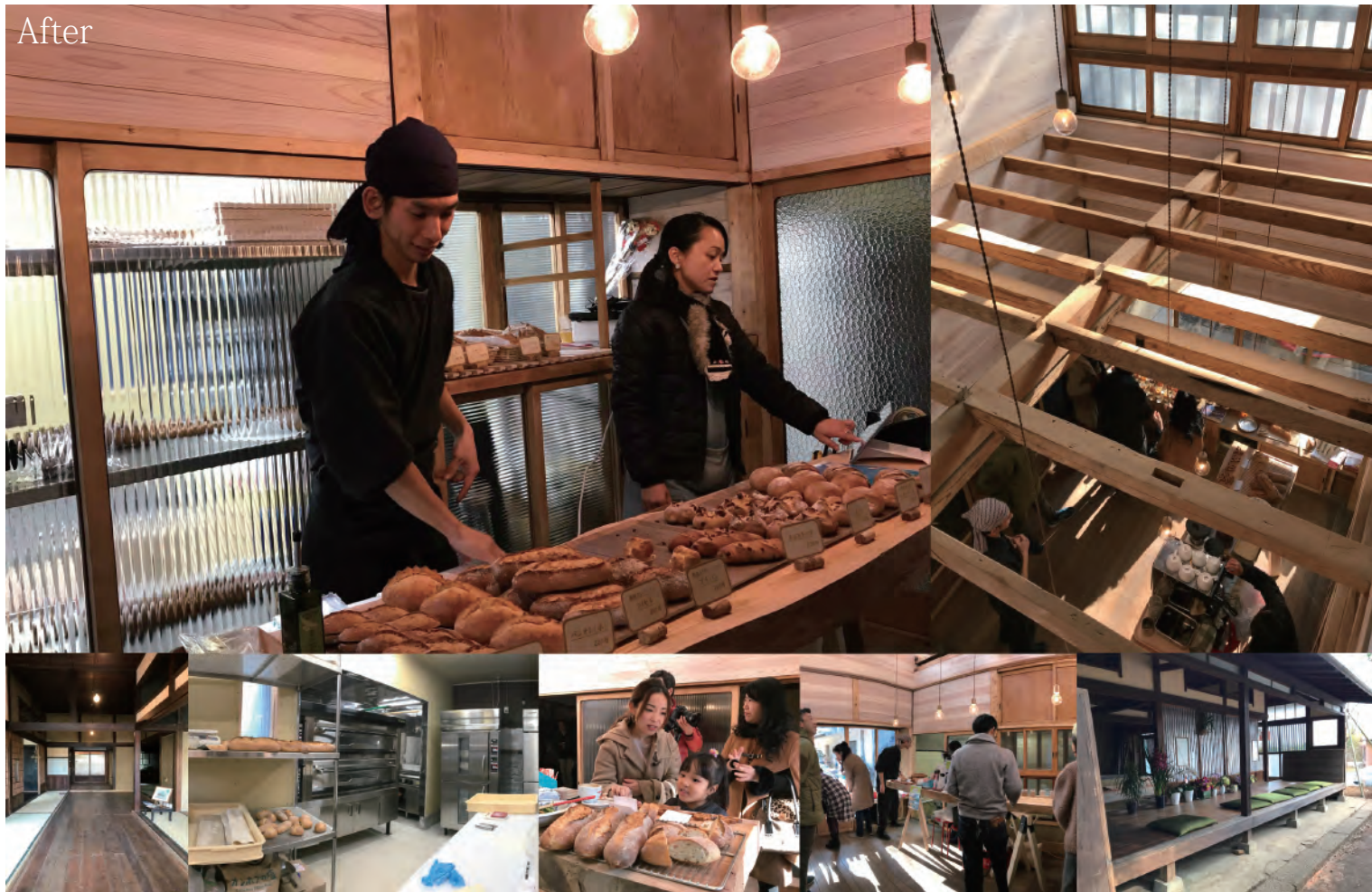
傾斜屋根を利用した天井の高い空間を実現した明るいリビング空間。2棟のリビングを結ぶ大きなバルコニーは、第三の共有リビングになり、各家庭の子供達が自由に往来し、賑やかで楽しい家になることを目指しました。



今回のセトケンニュースの中面は、瀬戸建設で施行したリノベーション特集です！



Renovation 麦焼処 麦踏 | 日本家屋をリノベーションしたパン屋



小田原の江ノ浦にある天正庵（豊臣秀吉が戦国時代に千利休に命じて茶会を開いた場所）にある古民家をリノベーションした、宮下様のパン屋さんがオープンしました。
このリノベーションは、2016年にこの地域の空き家で開催した「空き家の冒険」の候補物件の1つでした。「空き家の冒険」では、この地域の空き家をつかって起業したい有志を集い、設計士・建築学生でチームを結成。リノベーション案を検討し発表するワークショップでした。そこから、宮下様と設計事務所の後藤さんを中心に建築学生チームと根気強く計画を進め、2017年8月には縁側がある大きな和室の空間を

コミュニティスペースとするために、建築学生さんによるコンペを開催。その優勝者の案をDIYにてつくりあげました。古民家は空き家特有の問題がたくさんあり、それを1つ1つ根気よく解決し、その結果、たくさんの仲間に支えられ2018年1月にオープンとなりました。
「麦焼処 麦踏」では、湘南小麦をつかったパンを中心に、素材の味にこだわったパンが並びます。この地域の柑橘や、自家栽培での小麦も育て始めています。新しいメニューもどんどん増え、これからどんなパンが作られていくか楽しみです。



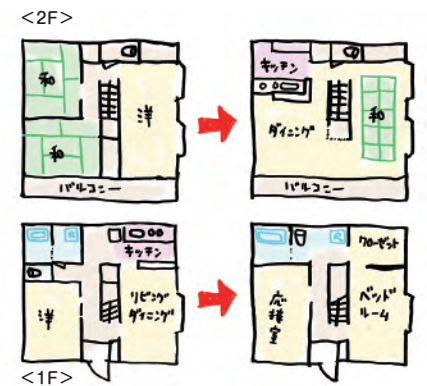
後藤組設計室の
後藤智揮さん

麦踏のリノベーションに際して、インフラや構造といった設計上の課題以外に開発審査会との調整という大きなハードルがありました。そのため開店まで1年半以上かかりましたが、その期間で地域内外の人たちを巻き込んでの庭づくりや間伐材による羽目板造りなど、自分たちでできることは自分たちで取り組むことにしました。結果、ここにしかない江の浦のパン屋さんになったように思います。ぜひ、縁側で大きなツバキを眺めながらバターロールを噛み締めてみてください。

麦焼処 麦踏 - むぎやきどころ むぎふみ -

小田原市江之浦307（火曜日定休）
TEL：0465-43-7992 Facebook：[mugiyakidokoro.mugifumi]

Renovation Y 邸 | ライフスタイルの変化を楽しむ。2階リビング計画



Before



お子さまも巣立ちご夫婦二人に。これからの生活スタイルのヒアリングにもとづき、思いきって1階にあったLDKを日当たりの良い2階に移動する大幅なプラン変更を提案しました。

間仕切りや建具は引き戸を多用することで季節と熱環境に応じたフレキシブルな間取りになり、1、2階とも階段周囲を回遊できるプランに。便利だけでなく住まいに広がりや奥行を与えることができました。

Renovation T 邸 | 想いをつなぐギャラリー付住宅



全国の百貨店で個展を開催するなど国内外で著名な陶芸作家の築28年の住まいをギャラリー付き住宅へとリノベーション。全国各地にある作品を地域の方々にも、気兼ねなく見てもらえるような展示場所にしたいと言われていました。
しかし、計画中に陶芸家であるご主人が不慮の事故で他界してしまいました。計画が白紙になると誰もが思っていたところ、数ヶ月後にご家族の皆様から、ご主人の意思を引き継ぎ、リノベーションを継続するとのご連絡を頂きました。
「安心して住み続けられる家に」をテーマとし、気持ちも新たに向き合いました。構造計算をし直し、開口が多すぎて弱体であった構造の立て直しも行い、使いやすさと想像以上の視界の広さを手に入れることができました。
家族の思い出の詰まった扉は1階の工房で再活用。家族みんなが使っていた思い出のレバーハンドルも再利用。トイレには娘さんがデザインされ窯で焼かれた陶器の水洗ボールも設置され、思い出と新たな想いと作品を引き継ぐ住まいが完成しました。



省エネ意識の高まりやライフスタイルの変化を機にリノベーションを検討される方が増加しております。生かせる箇所は生かし、新たな形で生まれ変わらせる。プロの目で判断してくれるので安心はもちろんの事、細部まで手を抜かず一緒になって家づくりを楽しみましょう

